

# 平成24年度 事業計画

平成24年5月28日

公益社団法人 日本鋳造工学会

## 平成 24 年度事業計画

日本鑄造工学会にとって平成 24 年度は創立 80 周年を迎える記念の年であり、定款第 3 条（目的）「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業をこれまで以上に活発に展開する。経済情勢の現況や会員数の減少など本会を取り巻く情勢は厳しくなっているが、平成 21 年策定した長期ビジョンのロードマップに基づきながら、新しい姿への飛躍の年として、さまざまな取組を進めてゆく。

公益事業としては、公 1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公 2：鑄造工学に関する調査研究事業、公 3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公 4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他 1：会員に頒布する図書発行事業の 5 つの区分にしたがって活動を継続する。

今年度において実施を計画している事業は以下のとおりである。

### 1. 学術講演会、講習会等の開催事業（公 1）

国内の鑄造業界においては、さまざまな課題が山積している。伝統的な鑄造技術を受け継ぎ、さらにそれらを後世まで残していけるような息の長い人材の育成、さらに海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、さらに鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力も必要である。今後は一つの企業だけでなく、業界全体でこれらの課題に取り組み、日本全体の利益に寄与していくことが重要となっていく。

活動としては、全国講演大会を春季と秋季の 2 回開催し、今まで未発表の研究成果を発表し、討論を行う。同時に技術講習会、シンポジウム、若手鑄造技術者を中心とする YFE 大会、鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民や会員にとっての交流の場をつくる。また、特別講演や招待講演として、韓国、中国などの鑄造工学会との交流講演や国内要人の講演を計画している。鑄物や鑄造技術を身近に感じることができるとも鑄物教室、体験教室や工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして、鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を図ることに寄与する。また、地域に密着したテーマを選び、講演会、講習会を実施していく。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催を行う。

#### (1) 講演大会

##### ①第 160 回全国講演大会

- |     |   |
|-----|---|
| 開催日 | 平成 24 年 5 月 27 日～30 日   |
| 場 所 | 名古屋市中小企業振興会館  |
| 行 事 | a. 研究発表講演会<br>b. オーガナイズドセッション<br>c. 日中韓交流講演<br>d. 特別講演<br>e. YFE（若手鑄造技術者）大会<br>f. こども鑄物教室<br>g. 工場見学会<br>h. 懇親交流会<br>i. 技術展示会 |

##### ②第 161 回全国講演大会（社団法人日本鑄造協会との合同開催）

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| 開催日 | 平成 24 年 10 月 12 日～15 日 |
| 場 所 | 岩手県民情報交流センター（盛岡市）      |

- 行事
- a. 研究発表講演会
  - b. オーガナイズドセッション
  - d. 特別講演
  - f. こども鋳物教室
  - g. 工場見学会
  - h. 懇親交流会
  - i. 技術展示会

### ③講演会

- a. 論文賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する。
- b. 日下賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する。
- c. 技術賞、豊田賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する。
- d. 日・中、日・韓交流講演の開催する。
- e. YFE 講演大会を開催する。
- f. 北海道支部の創立 60 周年記念講演大会（4 月 札幌市）
- h. 加山記念講演会（関東支部 4 月 東京）
- i. 講演会（北陸支部 5 月 富山県）
- j. 講演会（社）日本鋳造協会北陸地区協議会との共催（北陸支部 石川県）
- k. 特別講演会（東海支部 4 月 名古屋市）
- l. 若手討論会（東海支部 6 月 三重県）
- m. 特別講演会（東海支部 7 月 名古屋市）
- n. 技術講演会（東海支部 9 月 長野県）
- o. 名工大特別講義（東海支部 10 月 名古屋市）
- p. 技術講演会（東海支部 11 月 岐阜県）
- q. 若手討論会（鋳鉄）（東海支部 11 月 岐阜県）
- r. 技術講演会（東海支部 平成 25 年 2 月 静岡市）
- s. 講演大会（関西支部 2 回）
- t. 中国・四国支部の創立 60 周年記念講演大会（4 月 広島市）
- u. 鋳造技術講演会（中国・四国支部 4 月, 12 月）
- v. 地方講演会（中国・四国支部 平成 25 年 3 月）
- w. 講演大会（九州支部 平成 25 年 3 月）

### (2) 技術講習会

- ① 「e-MONO づくりのための「見える化」と「トータル最適デザイン」技術  
平成 24 年 5 月 27 日（名古屋）
- ② 「未定」平成 24 年 10 月 12 日 岩手県民情報交流センター（盛岡市）
- ③ 第 11 回夏期・鋳造技術講座（東北支部 9 月）
- ④ 技術講習会（北陸支部 11 月 富山県）
- ⑤ 基礎講座（鋳鉄）（東海支部 9 月 刈谷市）
- ⑥ 基礎講座（非鉄）（東海支部 11 月 刈谷市）
- ⑦ 講習会（鋳造セミナー）（関西支部 1 回）

### (3) シンポジウム

- ① 研究部会の成果を報告するシンポジウムを 2 回開催する。

### (4) YFE 大会

- ① YFE 大会（春季全国講演大会時 5 月 名古屋）
- ② 東北支部第 20 回 YFE 大会（東北支部 11 月 山形県）
- ③ YFE 発表大会（関西支部 12 月 学生、若手研究者・技術者による発表大会）

### (5) 工場見学会

- ① 工場見学会（北陸支部）
- ② 工場見学会（東海支部 平成 25 年 2 月 静岡県）

(6) こども鋳物教室

- ① こども鋳物教室を開催する（名古屋市 5月27日 東海支部）
- ② こども鋳物教室を開催する（盛岡市 10月12日 東北支部）
- ③ 鋳物体験教室を開催する（関東支部）
- ④ こども鋳物教室を開催する（福井県 8月 北陸支部）
- ⑤ こども鋳物教室を開催する（YFE 社会貢献事業）（中国・四国支部 1回）

(7) 海外交流講演会

日中韓交流講演の開催（5月28日 名古屋市）

- (8) 鋳造カレッジを開催する（社団法人日本鋳造協会に協力）（北海道支部 6月開講）  
テキストに沿ったカリキュラムの実施，インターンシップ，工場見学会を行う。
- (9) 鋳造カレッジを開講する（社団法人日本鋳造協会に協力）（関東支部 6月開講）
- (10) 鋳造カレッジ近畿地区でのインターンシップを開催（関西支部 鋳鋼部門）
- (11) (財)素形材センターとの共催による研修講座，技術セミナーの開催

## 2. 鋳造工学に関する調査研究事業（公2）

鋳造工学に関する各技術分野の専門家による，鋳造工学に関する研究，調査，技術交流事業を行う。下記の研究部会の研究成果，それに基づく研究報告書に関するシンポジウム等を開催し，その研究成果を公開する。調査研究の結果を実際の実務，業務に生かすため，鋳造に関する工場見学会を行うなど，現場での技術交流を深める。研究活動の成果は研究報告書として発行し，その有効活用に努める。広く鋳造工学に関する情報や資料の収集を行い，その技術的な研究を発表することで日本の経済，ものづくりの発展に寄与する。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書，レビュー記事などの発表を行う。（2回）
- (2) シンポジウムの開催による研究部会成果の公開を行う。（2回）
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し，ロードマップの発表と，部会活動の成果を報告する。（春季大会時）
- (4) 技術委員会を開催する（北海道支部）
- (5) 鋳造技術部会（第85回 7月，第86回 1月 東北支部）
- (6) 現場鋳造技術研究会（企画委員会 1回，研究会 3回 関東支部）
- (7) 研究発表会（YFE と共催 平成25年3月 富山県 北陸支部）
- (8) 研究会（関西支部 7回）
- (9) 支部研究発表会，鋳造技術講習会（中国・四国支部 12月 広島市）
- (10) YFE 鋳造技術研究会（中国・四国支部 鋳造技術研究会 1回，YFE「いいもの」研究部会 2～3回 広島市）
- (11) 中国・四国支部，九州支部合同研究会
- (12) 九州鋳物研究会（九州支部 3回）
- (13) YFE 研究会，勉強会（九州支部 1回）

## 3. 表彰及び奨励事業（公3）

将来の鋳造産業及び日本の製造業の発展のため，優れた業績を挙げた会員や一般市民には日本鋳造工学会大賞をはじめ10種類の表彰を行う。今年度から優れた鋳物の製造や開発に対するキャスティングオブザイヤー賞を授与する。その他，学術講演会では研究成果を発表した学生の優秀講演に対する表彰，鋳造関連企業に就職した大学等の卒業生に奨励賞制度を設けている。また，寄付金をもとに設定した基金から，若手研究者の奨励，若手活動支援，新東工業鋳造技術研究助成の制度により研究を奨励する。

地域に密着した表彰及び奨励制度により，支部において選考された方々の表彰，奨励を行う。

(1) 表彰

a. 本部関係

日本鋳造工学会大賞（1件），優秀論文賞（1件），論文賞（2件），クボタ賞（1件），

飯高賞（2件），功労賞（7件），技術賞（5件），網谷賞（5件），豊田賞（3件），日下賞（3件），キャストィングスオブザイヤー賞（2件）の授与

b. 支部関係

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 北海道支部関係   | 支部貢献表彰実施                                 |
| ② 東北支部関係    | 大平賞，金子賞，井川賞，堀江賞(新設)の授与                   |
| ③ 関東支部関係    | 功労賞，功績賞，現場技術改善賞の授与                       |
| ④ 北陸支部関係    | 功労賞の授与                                   |
| ⑤ 東海支部関係    | 支部賞，奨励賞，堤記念賞，功労賞，特別功労賞<br>功績賞，技術賞，感謝状の授与 |
| ⑥ 関西支部関係    | 石野賞，功労賞，技術功労賞の授与                         |
| ⑦ 中国・四国支部関係 | 片島賞，功労賞，支部奨励賞の授与                         |
| ⑧ 九州支部関係    | 技能功労賞，技術奨励賞の授与                           |

(2) 奨励

a. 本部関係

若手研究奨励（10名以内），若手活動支援（2名以内），新東工業鑄造技術研究助成（1名以内）

b. 支部関係

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 東海支部関係    | 研究助成，研究部会助成の実施  |
| 関西支部関係    | 研究奨励，研究助成，奨学の実施 |
| 中国・四国支部関係 | 奨励の実施           |

#### 4. 鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業（公4）

学会誌「鑄造工学」を引き続き毎月発刊する。最新の研究論文，技術論文をはじめ技術報告，解説，連載講座，現場改善事例，レビューの他，鑄造業界の要人のインタビュー記事やQ&Aコーナー，今年は特集を2回，新連載を掲載し，研究者，技術者及び経営者のいずれの方にも役立つ情報を掲載する。また英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同発刊に協力するとともに，本会会員の投稿を積極的に推進する。

会誌は昭和32年の「鑄物」第1巻から現在「鑄造工学」第84巻までおよそ80年間の記事の電子化を進め，J-STAGEへ登載を進めているが，本年度は完了させ，インターネットにより誰にでも読んでいただけるよう公開する。

また，支部においては地域の会員などとの魅力ある活動の一環で，地域に特徴をもった支部会報の発行を進め，普及を図る。

(1) 学会誌「鑄造工学」の定期発刊

会誌「鑄造工学」第84巻第4号より第85巻3号までの12冊を発行する。

特集号を7月，12月に，連載を第85巻第1号より行う。

- (2) 全国講演大会講演概要集を5月，10月に発行を行う。
- (3) 技術講習会テキストを5月，10月に発行を行う。
- (4) シンポジウムテキストは1回発行予定である。
- (5) 研究報告書はNo. 109，No. 110を発行予定である。
- (6) 支部会報発刊（東北支部 第48号 平成25年3月）
- (7) 支部会報（関西支部 11月8日鑄物の日の発刊）
- (8) 支部会報「こしき」35号の発行（中国・四国支部 12月）

#### 5. 会員等に頒布する図書発行事業（他1）

専門誌，図書発行を行う。当事業では，鑄造研究者，鑄造技術者向けに鑄造工学に関する専門誌を発行し，会員はじめ鑄造関連技術者相互の利益を図る。

主に鑄造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので，多くの発刊が望めないものであるが，鑄造分野においては必要不可欠な，将来に残すべき内容を

まとめて発刊する。その分野の先進の専門家が編集委員会を組織し、データの収集と編集を行う。  
今年度は 80 周年を記念し、「鑄鉄の材質」を最新の研究成果と技術を織り込み、鑄造研究者、技術者のみならず機械技術者、設計技術者を対象に発刊する。

- (1) 80 周年記念出版「鑄鉄の材質」を 5 月に発刊予定である。
- (2) 図解鑄造用語辞典の改訂版増刷
- (3) 現場技術改善事例（5 分冊）の増刷
- (4) 研究報告書、テキストなどの発行

## 6. その他、本会の目的を達成するための事業

- (1) 国内関係
  - ① 本会 80 周年記念事業（11 月 8 日 鑄物の日 東京）
  - ② 支部 60 周年記念事業（中国・四国支部 講演会等 4 月 広島市）
  - ③ 日本工学会など関連学会との協力
  - ④ (社)日本鑄造協会、(財)素形材センターとの協力
- (2) 国際関係
  - ① 国際鑄物会議への協力（2016 年 世界鑄物会議を名古屋で開催）
  - ② アジア鑄物会議への協力
  - ③ 中国鑄造学会、韓国鑄造工学会との交流
  - ④ 来日外国学識者との交流
  - ⑤ 海外開催学会への派遣

## 7. 本会の法人管理・運営に関する事業

- (1) 平成 24 年度通常総会（平成 24 年 5 月 28 日）  
その他、各支部において支部総会を開催（4 月 北海道，東北，関東，北陸，東海，関西，中国・四国，九州支部）
- (2) 理事会の開催
  - a. 6 回開催（本部），2～8 回開催（8 支部）
- (3) 各種委員会の開催（本部関係）
  - ① 企画委員会（2 回開催）
    - a. 本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する。
    - b. 技術相談室を推進する。
    - c. 鑄造関連団体との連携を強化する。
    - d. (財)素形材センターの「鑄造技術研修講座」への協力を行う。
  - ② 行事企画委員会（4 回開催）
    - a. 支部活動行事を含む行事の企画を推進する。
    - b. 80 周年記念行事を企画，開催する。（11 月 8 日 鑄物の日）
  - ③ 会誌編集委員会（12 回開催）
    - a. 既刊学会誌「鑄物」及び「鑄造工学」の J-STAGE への登載，公開を行う。
    - b. 掲載記事の多様化など（連載記事，解説記事などの充実）を図る。
    - c. 英文誌「Materials Transactions」共同刊行を推進する。
  - ④ 国際関係委員会（2 回開催）
    - a. 2016 年世界鑄物会議開催（名古屋）のための準備を推進する。
    - b. 世界鑄物会議（2012 年 メキシコ），アジア鑄物会議などの運営と講演発表への参加を行う。
    - c. 日本・韓国・中国鑄造学会との交流の推進を行う。
  - ⑤ 研究委員会（2 回開催）
    - a. 研究報告書の編集を進める。
    - b. シンポジウムの開催を行う。

- c. 研究ロードマップを推進する.
- d. 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催する.
- ⑥ YFE 委員会（2回開催）
  - a. 「こども鋳物教室」, 「鋳物体験教室」を企画, 推進する.
  - b. 若手鋳造技術者, 研究者による研究発表や技術交流を図る.
  - c. YFE 講演大会を開催する.
- ⑦ 財務委員会（2回開催）
  - a. 財政強化のための施策を検討, 推進する.
  - b. 会計業務の監督, 指導を行い, 財政の健全運営を図る.
- ⑧ 人材育成委員会（4回開催）
  - a. (社)日本鋳造協会との合同委員会により「鋳造カレッジ・中核人材育成事業」を推進する.
  - b. (財)素形材センターの研修講座, 技術セミナーの共催を推進する.
- ⑨ 広報委員会（4回開催）
  - a. 学会ホームページの更新を行う.
  - b. ホームページ上でのバーチャル鋳物博物館など検討する.
- ⑩ 長期ビジョン委員会（2回開催）
  - a. 学会長期ビジョンの推進を行う.
- (4) 委員会（支部関係）
  - ① 企画技術委員会（北海道）
  - ② 広報委員会（関東） No. 30 支部便りを編集し, ホームページへ掲載公開する.
  - ③ 人材育成委員会（関東） 関東地区の鋳造カレッジ及び新人教育講座の開催を支援する.
  - ④ 企画委員会（北陸 3回） 講演会, 技術講習会, 工場見学会, 研究発表会などの行事を企画する.
  - ⑤ 研修講座運営委員会（関西 (財)素形材センターとの共催のもとで「鋳鉄の基礎と応用」を開催企画する 8月開催）
  - ⑥ YFE 委員会（北海道, 東北, 関東, 北陸, 東海, 関西, 中国・四国, 九州）

本部平成24年度事業計画に関する事項

1. 総会に関する事項（定款第13条）

平成24年度通常総会は、平成24年5月28日(月)15時50分より、名古屋市中企業振興会館（名古屋千種吹上2-6-3）にて開催の予定である。

2. 表彰・奨励に関する事項（定款第4条第4号）

1) 表彰

平成24年度は、次の各賞を授与する予定である。

日本鑄造工学会大賞	2件	2名
論文賞	3件	13名
クボタ賞	1件	1名
飯高賞	2件	2名
功労賞	7件	7名
技術賞	5件	9名
網谷賞	5件	5グループ
豊田賞	3件	3グループ
日下賞	3件	3名
特別功労賞	1件	12名

(学会創立80周年記念)

キャスティングスオブザイヤー賞 2件

2) 奨励

- (1) 平成24年度の日本鑄造工学会新東工業鑄造技術研究助成金を1名に授与する。
- (2) 平成24年度鑄造業関連に就職する大学等の卒業予定者で支部からの推薦に基づき「奨励賞」を授与する。
- (3) 平成24年度の「若手研究者研究者奨励基金」を10名以内に授与する。
- (4) 平成24年度の「若手活動支援基金」を2名に授与する。

3. 全国講演大会（定款第4条第1号）

1) 第160回全国講演大会及び諸行事に関する事項

日時：平成24年5月28(月)、29(火)、30(水)

場所：名古屋市中企業振興会館

名古屋千種吹上2-6-3

- 行事：(1) 研究発表講演会  
 (2) 論文賞受賞記念講演  
 (3) オーガナイズドセッション  
 (4) 日-中、日-韓交流講演  
 (5) 特別講演  
 (5) YFE大会（日下賞受賞記念講演含む）  
 (6) パネルディスカッション  
 (7) YFE こども鑄物教室  
 (8) 工場見学会  
 (9) 懇親交流会  
 (10) エクスカーション

(11) 懇親ゴルフ大会

(12) 技術展示会

2) 第160回全国講演大会及び諸行事に関する事項

(社団法人日本鑄造協会との合同開催)

日時：平成24年10月12(金)～15(月)

場所：岩手県民情報交流センター（盛岡市）

- 行事：(1) 研究発表講演会  
 (2) 技術賞・豊田賞受賞記念講演  
 (3) オーガナイズドセッション  
 (4) 特別講演会  
 (5) こども鑄物教室  
 (6) 工場見学会  
 (7) 懇親交流会  
 (8) エクスカーション  
 (9) 技術展示会  
 (10) 懇親ゴルフ大会

4. 技術講習会に関する事項（定款第4条第1号）

- 1) 「e-MONOづくりのための「見える化」と「トータル最適デザイン」技術

日時：平成24年5月27日(日) 10:00～17:10

場所：名古屋市中企業振興会館4階第3会議室

名古屋千種区吹上2-6-3

2) 題目：未定

日時：平成24年10月12日(金)

場所：岩手県民情報交流センター

盛岡市

5. シンポジウムに関する事項（定款第4条第1号）

研究部会の成果を報告する独立シンポジウムを2回開催する予定である。

6. 技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項（定款第4条第1号）

受賞記念講演は秋季開催の全国講演大会時に行う。

7. YFE活動に関する事項（定款第4条第1号）

1) 第23回YFE大会

日時：平成24年5月29日(火) 13:40～15:40

場所：名古屋市中企業振興会館 展望ホール

- ① 講演：(1件)  
 特別講演 1件  
 ② 日下賞受賞者講演 (3件)

8. 国際会議に関する事項（定款第4条第1号、5号）

- 1) 日・中、日・韓交換講演 5月28日(月) 名古屋市中企業振興会館

9. 出版に関する事項（定款第4条第4号）



- 1) 定期刊行物
    - 1) 会誌「鑄造工学」第84巻第4号より第85巻第3号までの12冊を発行の予定、特集号を7月、12月号を予定、連載を第85巻第1号より行う。
    - 2) 全国講演大会講演概要集
      - 5月及び10月の2回発行する。
    - 3) 技術講習会テキスト
      - (1) 「e-MONO づくりのための「見える化」と「トータル最適デザイン」技術を5月に発行の予定。
      - (2) 題目未定 10月に発行の予定。
    - 4) シンポジウムテキスト
      - 独立シンポジウムのテキストは、開催に応じて発行する。
    - 5) 研究報告書
      - No. 110より順次発行の予定である。
  10. 各種委員会に関する事項（定款第5条-(6)項）
    - 1) 企画委員会に関する事項
      - (1) 本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する。
      - (2) 技術相談室を推進する。
      - (3) 鑄造関連団体との連携を強化する。
      - (4) 素形材センターとの共催で「鑄造技術研修講座」を開催する。
    - 2) 行事企画委員会に関する事項
      - (1) 支部活動行事を含む行事の企画を推進する。
      - (2) 学会創立80周年記念行事を企画、開催する。（11月8日鑄物の日）
    - 3) 会誌編集委員会に関する事項
      - (1) 既刊学会誌「鑄物」及び「鑄造工学」のJ-STAGEへの掲載によるインターネット公開を完了させる。
      - (2) 掲載記事の多様化など（連載記事、解説記事などの充実）を図る。
      - (3) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行を推進する。
    - 4) 国際関係委員会に関する事項
      - (1) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行への協力を行う。また、本英文誌へ本会員の研究論文が掲載されるよう支援する。
      - (2) 2016年世界鑄物会議開催（名古屋）のための準備を推進する。
      - (3) 日本・韓国・中国との鑄造工学会交流を推進する。
      - (4) 世界鑄物会議（2012年メキシコ）、アジア鑄物会議などの運営と講演発表への参画を行う。
    - 5) 研究委員会に関する事項
      - (1) 研究報告書の発行を行う。
      - (2) シンポジウムを開催を行う。
      - (3) 研究ロードマップを推進する。
      - (4) 全国講演大会でのオーガナイズドセッションを開催する。
    - 6) YFE委員会に関する事項
      - (1) 「こども鑄物教室」、「鑄物体験教室」を企画、推進する。
      - (2) 若手鑄造技術者、研究者による研究発表や技術交流を図る。
      - (3) YFE講演大会を開催する。
    - 7) 財務委員会に関する事項
      - (1) 財政強化のための施策を検討・推進する。
      - (2) 会計業務の監督・指導を行い、財政の健全運営化を図る。
    - 8) 人材育成委員会に関する事項
      - (1) （社）日本鑄造協会との合同委員会により「鑄造カレッジ・中核人材育成事業」を推進する。
      - (2) （財）素形材センターの研修講座、技術セミナーの共催を推進する。
    - 9) 広報委員会に関する事項
      - (1) 学会ホームページの更新を行う。
      - (2) ホームページ上でのバーチャル鑄物博物館などを検討する。
    - 10) 長期ビジョン委員会に関する事項
      - (1) 学会長期ビジョンの推進を行う。
- 各支部平成24年度事業計画に関する事項
- 1) 北海道支部
    1. 支部大会
      - 支部創立60周年を迎え、その記念大会を4月19日（木）にKKRホテル札幌（札幌）にて開催する。（詳細は大会開催案内）
    2. 企画技術委員会
      - 適宜開催
    3. 技術研究会
      - 鑄造技術研究会（長船主査）、鑄造技術教育研究会（戸羽主査）、非鉄鑄物の高度化技術研究会（柴田主査）を適宜開催する。
    4. 支部理事会
      - 定例支部理事会は1月末または2月始めに実施。
    5. その他
      - 本年度は鑄造カレッジを北海道でも開催することが決定し、開催に向け準備を進めている。
      - 実施時期は6月初旬に開講し、テキストに沿ったカリキュラムの実施、インターンシップ、工場見学を行い、2月末に終了式を行うことで計画している。
  - 2) 東北支部
    - (1) 理事会
      - 平成24年度定例理事会
      - 開催日：平成25年3月下旬予定
      - 開催場所：未定

- (2) 第161回全国講演大会  
開催日：平成24年10月12日(金)～15日(月)  
開催場所：盛岡市
- (3) 鑄造技術部会  
1) 第85回鑄造技術部会  
開催日：平成24年7月下旬予定  
開催場所：秋田県を予定  
2) 第86回鑄造技術部会  
開催日：平成25年1月下旬予定  
開催場所：福島県を予定
- (4) 東北支部第20回YFE大会  
開催日：平成24年11月上旬予定  
開催場所：山形県を予定
- (5) 第11回夏期・鑄造技術講座  
開催日：平成24年9月上旬予定  
開催場所：未定
- (6) 支部会報  
第48号は、平成25年3月上旬発行予定
- 3) 関東支部  
1. 幹事会・理事会  
幹事会を5回、理事会を5回、顧問会を1回開催する。  
2. 総会  
平成24年度通常総会を、平成24年4月20日(金)に日立金属高輪和彊館において開催する。  
3. 加山記念講演会  
平成24年4月20日(金)に日立金属高輪和彊館において第24回加山記念講演会を開催する。  
講演題目：自動車に代表される輸送機械の電子電動化と本質安全化の動向  
講師：日立建機㈱シニアコンサルタント  
児玉英世君
4. 研究委員会  
支部講演会を2回、加山記念講演会を1回開催する。研究委員会の下部組織として、仮称「片状黒鉛鑄鉄の黒鉛形状定量化研究部会」の設置を検討する。  
趣旨：市村元氏が検討を深めてきた組織定量化に関する研究を深め、広く普及するための研究を行う。  
委員は興味がある有志の者で構成し、委員長は委員から互選する。関東支部からは特に義務を課さないが、可能であれば年に一度程度、支部内で進捗報告を行い、可能であれば全国大会等で発表する。  
顧問として市村氏をお願いしたい。
5. 現場鑄造技術研究会  
企画委員会を1回、研究会を3回開催する。
6. YFE企画委員会  
工場見学会(勉強会共催)を2回開催する。
- 鑄物体験教室(子供いもの教室)を開催する。
7. 広報活動  
これまでのコンテンツを変えずに毎月記事を集めて更新する。  
会誌「鑄造工学」の現場技術改善事例の執筆依頼候補12社を選定し本部編集委員会へ推薦するとともに、各企業に執筆を依頼する。  
平成24年度支部活動をまとめてNo.30「支部便り」を編集してHPへ掲載する。  
会誌「鑄造工学」Vol.85(2013)の<支部だより>に掲載する「関東支部活動報告」を執筆し、平成25年3月頃に投稿する。
8. 人材育成委員会  
委員会を3回開催する。関東地区の鑄造カレッジ及び鑄造入門講座の開催を支援する。
- 4) 北陸支部  
(1) 総会(YFEと共催)  
総会を1回(2012年5月の予定)開催し、前年度の決算報告、当該年度予算と計画している行事の説明をするとともに、出席者から意見を募り、支部運営全般について議論し、意見集約する。  
(2) 理事会(YFEと共催)  
支部運営全般に関する議論と方針の決定のために、4回開催する。  
(3) 企画委員会(YFEと共催)  
支部講演会、支部技術講習会、支部工場見学会、支部研究発表会などの支部主催行事の具体的内容を企画するために、3回開催する。  
(4) 支部講演会(YFEと共催)  
開催日：2012年5月中旬の予定  
開催地：富山県  
内容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師(2名程度)を招聘する。  
(5) 支部技術講習会  
開催日：2012年11月中旬の予定  
開催地：石川県  
内容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師(2名程度)を招聘する。  
(6) 支部工場見学会  
1回開催する。開催日及び見学先は、未定である。  
(7) 支部研究発表会(YFEと共催)  
開催日：2013年3月の予定  
開催地：富山県  
内容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した研究を行っている支部会員あるいは支部外の講師に発表していただき、支部内の研究活動の活性化を図る。  
(8) YFE こども鑄物教室  
開催日：2012年8月の予定

開催地：福井県の予定  
 内 容：工業見本市などの展示会にて出展し、鑄造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鑄造とその関連技術の理解促進に努める。

企業または公的機関、北陸地区外の講師に鑄造業界のトレンド、最新研究動向、経済状況予測などをご講演いただき、北陸地区内の活性化の一助にするとともに、会員相互の情報交換の場を提供する。

(9) 日本鑄造協会北陸地区協議会との共催事業

開催日：2013年3月の予定  
 開催地：石川県の予定  
 内 容：講演会と懇親会を共催する。北陸地区の

5) 東海支部

開催年月	行 事 地 区	内 容	内 容 詳 細
4月13日(金)	名古屋	総 会	1, 支部総会 2, 支部表彰式
4月13日(金)	名古屋	特別講演会	1, 特別講演会
5月27日(日)	名古屋	第160回 全国講演大会	1, 講演会 2, 講習会 3, 展示会 4, 工場見学会 5, レセプション 6, ゴルフ他
5月30日(水)			
6月	三重県	若手討論会 (アルミ)	1, 若手技術者討論(アルミ)
7月20日(金)	名古屋	特別講演会 (懇親会)	1, 特別講演会 2, 懇親会(ビヤパーティー)
9月8日(土)	刈谷	基礎講座(鑄鉄)	1, 基礎講座(鑄鉄)
9月	長野県	技術講演会	1, 技術講演 2, 研究部会報告 3, 現場技術発表
10月	名古屋	名工大特別講義	1, 特別講義
11月17日(土)	刈谷	基礎講座(非鉄)	1, 基礎講座(非鉄)
11月	岐阜県	技術講演会	1, 技術講演 2, 研究部会報告 3, 現場技術発表
11月	岐阜県	若手討論会 (鑄鉄)	1, 若手技術者討論(鑄鉄)
平成25年2月	静岡 (浜松地区)	技術講演会	1, 技術講演 2, 研究部会報告 3, 現場技術発表
平成25年2月	静岡 (浜松地区)	工場見学	1, 工場見学
平成25年4月	名古屋	総 会	1, 支部総会 2, 支部表彰式
平成25年4月	名古屋	特別講演会	1, 特別講演会

6) 関西支部

- (1) 総会・代議員 1回
- (2) 役員会  
顧問会(適宜), 理事会(5回), 総務委員会, 企画委員会, 資金委員会(適宜), 運営連絡会(適宜)  
研究運営委員会(1回), 表彰者選考委員会(1回)
- (3) 講演大会 2回
- (4) 講習会(鑄造セミナー) 1回
- (5) 例会 1回

(6) 研究会

- 関西鑄造懇話会(3回), 消失模型鑄造法研究会(4回)
- (7) 研修講座運営委員会  
平成24年度も、(社)日本鑄造工学会関西支部では(財)素形材センターと共催のもとで、「鑄鉄の基礎と応用」を8月頃に実施する予定。詳細は(財)素形材センターの研修委員会で決定することになるが、支部新活動運営委員会としては、関西地区

の鑄鉄講座はここ数年定着してきており、参加者も安定して確保できることから、昨年とほぼ同様の講座を行うことを申し入れて進めていくこととする。

なお「銅合金鑄物の生産技術」については関西、関東で輪番制をとっているため、平成24年度は東京での開催予定となる。

(8) Y F E委員会

①YFE 委員会「学生・院生、若手研究者・技術者による発表大会」(YFE 発表大会)

日時：平成24年12月

研修・勉強・研究のための活動であると同時に、学生、若手技術者、技能者、研究者によるネットワーク作りの一環として行いたい。

②会社見学会(日時未定)。

(9) 鑄造中核人材育成事業

平成24年度鑄造カレッジ近畿地区でのインターンシップ開催(鑄鋼部門)

(10) 関西支部報発行プロジェクト運営委員会

鑄物の日(11月8日)に向けての発刊を行う。

(11) その他

7) 中国四国支部

(1) 支部総会・支部表彰

4月24日(於、メルパルク)

(2) 理事会

1回(4月24日)(於、メルパルク)

(3) 常任理事会

3回(4月11日、9月、1月)

(4) 支部60周年記念事業

1回(4月24日)(於、メルパルク)

(5) 鑄造技術講演・講習会

2回(4月24日、12月)

後援：(財)広島市産業振興センター

(6) 支部研究発表会

1回(12月)(於、広島市工業技術センター)

後援：(財)広島市産業振興センター

(7) Y F E鑄造技術研究会

・幹事会 1回(1～3月)

・鑄造技術研究会 1回(8～9月)

・Y F E「いいもの」研究部会 2～3回

共催：(財)広島市産業振興センター

・本部Y F E委員会

全国大会に合わせて開催

(8) YFE 社会貢献事業

こども鑄物教室の開催 1回

(9) 地方講演会・工場見学会 1回 3月

(10) 支部会報「こしき」35号の発行 12月

8) 九州支部

(1) 支部理事会(3回)

(2) 支部代議員会(1回)

(3) 支部総会、功労賞・奨励賞表彰並びに第65回講演大会

日時：平成24年4月9日(月)

場所：福岡県工業技術センター機械電子研究所

(4) 九州鑄物研究会(3回)

(5) YFE 総会及び研究会・勉強会(1回)